

令和7年度  
宇都宮大学地域デザイン科学部  
第3年次編入学

学生募集要項

豊かな発想を地域に，新たな知を世界へ

宇 都 宮 大 学

宇都宮大学では、地震、風水害等の災害により被害を受けた受験者の皆さんに対し、入学検定料を免除する制度があります。詳細は、7ページをご覧ください。また、入学時にも、入学料や授業料の免除・徴収猶予、学生寮の優先的入居などについて、できるだけ配慮を致します。困難な状況が続いていると思いますが、是非とも夢を失わず、真っ直ぐに前を見ながら歩いてください。応援しています。

## ☆主要日程

	推薦による選抜	学力試験による選抜
出願期間	令和6年5月7日(火)～5月10日(金) 9時～16時	令和6年6月3日(月)～6月6日(木) 9時～16時
面接	令和6年5月21日(火) 集合時刻：9時 面接開始：9時30分	
筆記試験・面接		令和6年7月2日(火) 集合時刻：9時10分 試験開始：9時40分
合格者発表	令和6年5月31日(金) 14時	令和6年7月12日(金) 14時
入学確約書提出期限	令和6年6月14日(金)	令和6年7月26日(金)

## ☆入学試験過去問題の開示について

本学では、過去の入学者選抜の入学試験問題を開示しています。

※面接に関する内容は公開していません。

### ○窓口での閲覧

開示場所 学務部入試課及び学務部陽東学務課

開示時間 9時～17時

(土曜・日曜・祝日・夏期一斉休業日(8月10日(土)～8月19日(月)・年末年始は除く))

### ○インターネットでの閲覧

本学ホームページ

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/past-other-questions.php>

※インターネット上では、著作権法上問題になる部分や一部の教科・科目を開示していません。

## ☆個人情報の取扱いについて

本学では、出願に際し提出いただいた氏名、生年月日、性別、住所、写真、成績その他及び入学試験に関する成績の個人情報は、次の範囲内で利用するとともに適正な管理に努めます。

- ① 入学者選抜、入学手続きなど入学までの一連の業務
- ② 入学後の修学関係(学生証交付、履修指導、名簿作成等)及び学生生活関連(奨学金、授業料免除等)の業務
- ③ その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務及び統計・分析のための資料作成等

## ☆お問い合わせ先

〒321-8505 宇都宮市峰町350  
宇都宮大学学務部入試課  
電話 028-649-5120

## ☆地域デザイン科学部ホームページ

ホームページアドレス <http://rd.utsunomiya-u.ac.jp/>

# 目 次

宇都宮大学の理念と方針，教育目標	1
宇都宮大学のアドミッション・ポリシー	1
宇都宮大学アドミッション・ポリシー	1
地域デザイン科学部アドミッション・ポリシー	2
地域デザイン科学部第3年次編入学学生募集要項	
1 募集学科及び募集人員	4
2 入学の時期及び編入学年次	4
3 出願資格	4
4 出願手続	5
(1) 出願期間	5
(2) 出願方法	5
(3) 出願書類等及び入学検定料	5
(4) 出願書類等の提出先	7
(5) 「受験票」の送付	7
(6) 入学検定料免除について	7
5 選抜方法	8
6 選抜日及び日程	8
7 試験場等	9
8 受験上の注意事項	9
9 合格発表等	10
(1) 合格者発表	10
(2) 入学確約書の提出	10
(3) 追加合格	10
10 入学手続	10
11 入学料及び授業料等	11
12 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談	11
13 修学条件等	11
14 募集要項請求方法	12
15 その他	12
16 地域デザイン科学部第3年次編入学試験実施結果	12
試験場への案内	13

## (添付書類等)

- ① 志 願 票 (一般学生用・外国人留学生用)
- ② 写真票・受験票
- ③ 推 薦 書
- ④ 調 査 書
- ⑤ 在学期間証明書
- ⑥ 宛名シール・志願票受付用シール
- ⑦ 銀行振込用紙 (入学検定料振込用)
- ⑧ 振込受付証明書貼付台紙
- ⑨ 入学検定料免除申請書
- ⑩ 受験票送付用封筒
- ⑪ 出願用封筒

## 【宇都宮大学の理念と方針，教育目標】

### ○理念と方針

宇都宮大学は、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献することを理念とし、広く社会に開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践するため、次の基本的な方針を定めています。

1. 幅広く深い教養と実践的な専門性を身につけ、未来を切り開く人材を育成します。
2. 持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、高水準で特色のある研究を推進します。
3. 地域社会のみならず広く国際社会に学び貢献する活動を積極的に展開します。

この理念と方針を基に、次の「教育目標」を掲げています。

### ○教育目標

1. 基盤教育を出発点として、現代社会に必要な汎用的能力（宇大スタンダード）を育成します。
2. 専門教育を通じて、実践的で専門的な知識と技能を涵養します。
3. それらのふたつを有機的に結びつけた4年一貫教育により、幅広い教養と行動的知性を備え、未来の社会を拓き支える人材を育成します。

#### 宇大スタンダード

【論理的思考力】 筋道を立てて論理的に物事を考える力

【情報活用力】 情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する力

【表現力】 感情や思考などを伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力

【学修力】 一人称で物事を捉え自ら行動し、進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力。変化に対応し、自らを変えようとする力

【協働力】 チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力。多様な人々との繋がりや協働を生み出す力

【課題解決力】 多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力。課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取組む力

## 【宇都宮大学のアドミッション・ポリシー】

### 宇都宮大学アドミッション・ポリシー

#### 求める学生像と受入れの基本方針

1. 未来を切り開いていこうとする夢と情熱を持っている人
2. 知的好奇心に富み、専門職業人として持続可能な社会の形成や発展に貢献したい人
3. 教養と専門知識を修得するために必要な基礎的な学力とコミュニケーション力を持っている人

# 地域デザイン科学部アドミッション・ポリシー

## 建築都市デザイン学科

建築都市デザイン学科は、実践的な建築技術を基礎として居住空間をデザインできる人材を育成します。

現在、日本の各地域において、急速に進む少子高齢化、地域社会の衰退とそれに伴うコミュニティ機能の低下、自然環境の大きな変化と自然災害の大規模化などを背景に、①少子高齢化社会（人口減少社会）への対応、②環境・エネルギー問題への対応、③防災・減災に基づく安全・安心社会形成への対応の3点が大きな社会的課題となっています。そこで、本学科では、従来の建築レベル、物的環境からの発想に加えて、地域レベル、社会を構成する多主体（住民、行政、企業など）とその関係などの社会環境にも着目し、広く都市・地域の視点から、物的環境と社会環境の対応関係を分析し、地域の実情に即してそれらを統合的にとらえ諸課題を解決する発想力と手法提案力を身に付けた人材を育成します。

### 1. 求める学生像

- (1) 建築と地域デザインの専門技術を学ぶために必要な幅広い基礎学力を有する人材
- (2) 人間生活・社会・自然を含む地球環境と建築・地域デザインとの関わりを学ぶ熱意のある人材
- (3) 歴史・文化・芸術を活かした建築・地域空間創造を追究する意欲のある人材

### 2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 高等専門学校教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 建築系分野に対する熱意と理数系分野に対する能力を評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢、論理的思考力、空間的把握能力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

## 社会基盤デザイン学科

社会基盤デザイン（Civil Engineering and Regional Design）とは、安全で持続可能な社会基盤・都市機能をデザインする学問領域です。英訳にある“Civil Engineering”は、Military Engineering に対する“市民工学”として、工学の歴史の中では最も古くから存在し、文明社会を築いてきた学問体系です。我が国においては、中国の故事『築土構木(土を築き、木を構える)』から“土木工学”と呼ばれ、私たちの社会生活と非常に深い関わりを持ち、市民生活の土台となっています。

土木工学が受け持つ分野は大変幅広く、その規模も大小さまざまです。現代の安全・快適な生活を営むためには、電気、水、情報通信網などの社会基盤設備（いわゆるライフライン）が不可欠です。その他、橋や道路などの交通網の整備、公園や街路樹などの環境整備、産業・民生の基盤となる港湾やダム、発電所などのエネルギー施設の整備、斜面安定処理や河川の整備、地盤沈下や土壤汚染・廃棄物など環境問題の解決に向けての対策、地域・国を挙げての防災・減災マネジメントなど、これらの計画から実行まですべてが土木工学を必要としている分野です。

そしてこれからの時代、ただ基盤設備を整備するだけではなく、地域社会の経済・社会・文化・歴史なども見据えて、その地域の課題を適切に解決に導いていく手腕が問われています。本学科では、土木工学とその周辺の専門知識を総合し、新たな道筋を切り拓くための社会基盤の「デザイン」能力を学修します。

### 1. 求める学生像

- (1) 国内・海外の様々な地域の課題解決に関心があり、グローバルに活躍したい人材
- (2) 社会基盤と地域デザインの技術修得に熱意があり、そのための幅広い基礎学力を有する人材
- (3) 社会全体の利益のために奉仕できる責任感のある人材

### 2. 入学者選抜の基本方針

- (1) 高等専門学校の教育課程を尊重し、基本的な学力と思考力を備えているかどうかを重視します。
- (2) 地域における社会基盤デザインに対する熱意と問題解決に対する能力を評価の対象とします。
- (3) 主体的な姿勢、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力なども考慮して評価します。

# 【地域デザイン科学部第3年次編入学学生募集要項】

## 1 募集学科及び募集人員

学 科 名	募 集 人 員	
	推薦による選抜	学力試験による選抜
建築都市デザイン学科		3名
社会基盤デザイン学科	3名	

(注) コミュニティデザイン学科は第3年次編入学試験を実施しません。詳細は、学務部入試課へお問い合わせください。なお、12ページに合格状況を掲載しましたので参考にしてください。

## 2 入学の時期及び編入学年次

入学の時期は、令和7年4月とし、第3年次に編入するものとします。

## 3 出願資格

入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力試験による選抜」の2つの方法で行い、それぞれの選抜の出願資格は以下のとおりです。

### 推薦による選抜

高等専門学校を令和7年3月卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身学校長等が人物、学力ともに優秀と認め推薦する者。なお、この場合同一人を他の国公立大学と重複して推薦できません。

### 学力試験による選抜 次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定に基づき、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和7年3月までに授与される見込みの者
- ③ 短期大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- ④ 高等専門学校を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者
- ⑤ 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上であること）を満たすものを修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者  
ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。
- ⑥ 修業年限4年以上の他の大学に2年以上在学している者及び在学した者  
ただし、一つの大学に2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上修得した者及び令和7年3月までに修得見込みの者（令和7年3月までに2年間以上在学となる者を含む）
- ⑦ 大学の学芸学部又は教育学部の2年課程を修了した者
- ⑧ 学校教育法施行規則附則第7条に規定する従前の規定による学校の課程を修了又は卒業した者で、第3年次に編入できる資格を有する者
- ⑨ 外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- ⑩ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- ⑪ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者

(注) 出願資格⑨⑩⑪に該当する者並びに、外国において出願資格①③④及び⑥のいずれかに相当する教育機関において修学した者は、市販の履歴書及び卒業（在学）証明書の写しを令和6年5月20日(月)までに学務部入試課に送付又は持参して、「出願資格の確認」を受けてください。  
履歴書には、初等教育（小学校）入学から現在までの学歴（正規の修業年限を含む）を記入してください。  
なお、資格確認の結果については、速やかに通知します。

## 4 出願手続

### (1) 出願期間

#### 推薦による選抜

令和6年5月7日(火)から5月10日(金)まで

受付時間は9時から16時までとします。

(郵送の場合は「書留速達」とし、5月10日(金)16時までに必着のこと)

#### 学力試験による選抜

令和6年6月3日(月)から6月6日(木)まで

受付時間は9時から16時までとします。

(郵送の場合は「書留速達」とし、6月6日(木)16時までに必着のこと)

(注) 出願期間（日時）以降に到着した出願書類は、受理しないので注意してください。

### (2) 出願方法

#### 推薦による選抜

入学志願者は、下記(3)に示す出願書類等を本学所定の出願用封筒に入れて出身学校長等へ提出してください。出身学校長等は、当該学校の志願者分を取りまとめ郵送又は持参してください。

#### 学力試験による選抜

入学志願者は、下記(3)に示す出願書類等を取りまとめ、本学所定の出願用封筒に入れて郵送又は持参してください。

### (3) 出願書類等及び入学検定料

出願書類等	該当者		摘 要
	推薦	学力	
編入学志願票	○	○	本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 外国人留学生用の志願票を使用する場合は、国費外国人留学生支給期間延長申請予定欄の選択肢に○を付けてください。
推薦書	○	/	本学所定の用紙により、出身学校長等が作成し「厳封」したもの。 学生募集要項に添付の用紙のほか、本学ホームページからダウンロードしたものを使用できます。
調査書	○	/	本学所定の用紙により、出身学校長等が作成し「厳封」したもの。 学生募集要項に添付の用紙のほか、本学ホームページからダウンロードしたものを使用できます。
成績証明書	/	○	出身校所定の用紙により、出身学校長等が作成し「厳封」したもの。(単位修得状況が記載されてあるもの) ※高等学校等から高等専門学校に編入学・転入学した者は出身高等学校等の調査書も同封すること。
授業科目の履修を証明する書類 ※出願資格⑥により出願する者のみ	/	○	現在履修中の授業科目がある場合は、62単位以上修得及び修得見込みであることを証明する書類を提出してください。
卒業（見込）証明書	○	○	出身校所定の用紙により、出身学校長等が作成し「厳封」したもの。 出願資格⑥により出願する者は提出不要です。



専門士取得（見込） 証明書 ※出願資格⑤により 出願する者のみ	○	○	出身学校長等が作成した，専門士取得（見込）証明書又は修業年限が2年以上で，かつ，課程の修了に必要な総授業時数が1,700時間以上である専門課程を修了又は修了見込みであることを証明するもの。
在学期間証明書 ※出願資格⑥により 出願する者のみ	/	○	本学所定の様式により，出身学校長等が作成したもの。
TOEIC® Listening & Reading Test 公式認定証「Official Score Certificate」	/	○	編入学試験実施日から過去2年以内に受験した TOEIC Listening & Reading Test 公式認定証「Official Score Certificate」。
写真票・受験票	○	○	上半身・正面・無帽で出願前3か月以内に撮影した写真2枚（縦4cm×横3cm）を写真票及び受験票に各々貼付してください。
入学検定料	○	○	30,000円。本学所定の銀行振込用紙を用い，本学の取引銀行（足利銀行・栃木銀行・みずほ銀行）のいずれかの口座に振り込んでください。ただしATMからの振込はしないでください。なお，その際振込銀行から発行される「振込受付証明書」を受け取り，「振込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に貼付してください。 地震，風水害等による被災の関係で入学検定料免除を申請する者は，「入学検定料免除申請書」を提出してください。その場合は，入学検定料は納付せずに，氏名とフリガナのみ記入し，「免除申請」を○で囲んだ「振込受付証明書貼付台紙」を提出してください。入学検定料免除の詳細は7ページをご覧ください。 *出願時点で，本学を入学希望大学として国費外国人留学生奨学金支給期間延長の申請を予定している者（現在高等専門学校又は専修学校に在学している者）は，検定料が免除されますので，検定料を振り込まずに，出身学校長等が証明した「国費外国人留学生の奨学金支給期間延長申請者の推薦に係る届出書」を出願時に提出してください。 様式は，本学ホームページよりダウンロードしてください。 ( <a href="https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/transfer.php">https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/transfer.php</a> )
受験票送付用封筒	○	○	本学所定の封筒に本人の郵便番号・住所・氏名を明記し，速達郵送料（344円）分の切手を貼付してください。
宛名シール・志願票 受付用シール	○	○	詳細に記入してください。郵便が間違いなく届くように，アパート名，マンション名，棟，部屋番号，○○様方などを省略せずに記入してください。
住民票 (外国人留学生のみ)	○	○	現に日本国に在住している外国人は市区町村長から交付された在留資格及び在留期間が明記され，マイナンバーが記載されていないものを提出してください。

#### 備考

(a) 受理した書類は，TOEIC® Listening & Reading Test 公式認定証「Official Score Certificate」を除き，いかなる理由があっても返還しません。提出された「Official Score Certificate」は返却の際に折りたたむことがあります。

出願手続き後の提出書類の内容変更は認めません。なお，氏名，現住所，受信場所又は電話番号に変更が生じた場合は，速やかに学務部入試課へその旨連絡してください。

提出した書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には，入学を取り消すことがあります。

(b) 入学検定料は，出願書類を受理した後は，いかなる理由があっても返還しません。

(c) 日本語以外で記載されている証明書・文書等には，訳文の提出を求める場合があります。

(4) 出願書類等の提出先

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学学務部入試課

電話 028-649-5120

(5) 「受験票」の送付

「受験票」は出願期間終了後送付します。『推薦による選抜』の出願者は、令和6年5月16日(木)までに、『学力試験による選抜』の出願者は、令和6年6月13日(木)までに到着しない場合は、本学学務部入試課にその旨申し出てください。

(6) 入学検定料免除について

本学では、災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験者の進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

① 免除申請の要件

入学検定料の免除を申請できるのは、東日本大震災及び平成23年3月以降に災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用された地域における地震、風水害等の災害（以下「災害」という。）により、次に該当する者です。

ア 主たる家計支持者（父母又はこれに代わって家計を支える者のうち、所得金額の最も多い者。以下「家計支持者」という。）が、災害救助法が適用された地域に居住している場合又は居住していた場合で、次のいずれかに該当する者

㊦ 家計支持者の居住する家屋について、市町村から次のいずれかに係る証明書を交付される者

ア 全壊

イ 大規模半壊

ウ 半壊

㊧ 家計支持者が、原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号）に基づき定められた次のいずれかの区域に居住している者又は居住していた者

ア 警戒区域

イ 計画的避難区域

ウ 緊急時避難準備区域

イ 家計支持者が、災害により死亡又は行方不明となった者

② 免除申請の手続

入学検定料の免除を受けようとする者は、出願時に、入学検定料免除申請書（別添書類）に、次のいずれかの証明書（写し可）を添えて、申請してください。

ア ①ア㊦並びに㊧に該当する者

罹災証明書、被災証明書等

イ ①イに該当する者

㊦ 家計支持者が死亡した場合

家計支持者の死亡が確認できる書類

㊧ 家計支持者が行方不明となった場合

家計支持者の行方不明の事実が確認できる書類又は行方不明となったことに係る申立て（入学検定料免除申請書に記載してください。）

なお、提出書類について不明な点がある場合は、あらかじめ学務部入試課まで問い合わせてください。

また、免除申請の要件を満たしていなかった場合は、入学検定料の納付について学務部入試課から電話にて連絡します。

## 5 選抜方法

### 推薦による選抜

選抜は、面接（口述試験を含む）の結果と、出身学校長等が作成した推薦書及び調査書の評価結果を総合して行います。

### 学力試験による選抜

選抜は、学力試験（英語（TOEIC 換算）、建築基礎）、面接の結果、及び出身学校長等が作成した成績証明書等の出願書類の評価結果を総合して行います。

配点は次のとおりです。

科目	英語	建築基礎	面接
配点	100点	200点	100点

### ◎試験科目の特記事項

#### ① 英語

学力試験（英語）は筆記試験を行わずに、その成績として TOEIC<sup>®</sup> Listening & Reading Test のスコアを換算使用します。

- ・ TOEIC<sup>®</sup> Listening & Reading Test のスコア750点以上の場合

換算点=100点

- ・ TOEIC<sup>®</sup> Listening & Reading Test のスコア750点未満の場合

換算点 = (100点) × (TOEIC<sup>®</sup> Listening & Reading Test のスコア) / 750

スコアは、編入学試験実施日から過去2年以内に受験したものに限ります。

#### ② 筆記試験（建築基礎）

筆記試験（建築基礎）では、建築構造学、建築計画学、建築環境学、建築材料学を各1問ずつ出題します。主な出題内容を表すキーワードは、以下のとおりです。

建築構造学：力のつり合い、静定構造物に関する応力と変形

断面の性質、応力度と歪度

建築計画学：単位空間、バリアフリーなどの建築計画

住宅、小規模施設などの建築設計に関する知識

建築環境学：熱環境（温熱感、熱負荷）、光環境（採光・照明）、空気環境（空調、換気、通風、

空気質）、音環境（遮音、音響）などの建築環境・設備

建築材料学：コンクリート・鋼材などの建築材料

## 6 選抜日及び日程

### 推薦による選抜

選抜日	学科名	面接時間
5月21日(火)	社会基盤デザイン学科	(口述試験を含む) 9:30 ~

### 学力試験による選抜

選抜日	学科名	建築基礎	面接	英語
7月2日(火)	建築都市デザイン学科	9:40 ~ 11:40	13:00 ~	(TOEIC 換算)

## 7 試験場等

集合場所：宇都宮大学陽東キャンパス（栃木県宇都宮市陽東7-1-2）

10号館1階玄関ホール

集合時刻：推薦による選抜 9時00分

学力試験による選抜 9時10分

## 8 受験上の注意事項

### (1) 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は、「本学の受験票」を必ず持参してください。
- ② 試験当日は、指定された集合場所に、集合時刻までに集合してください。これに遅れる場合は、試験開始後30分までは受験を許可します。ただし、試験時間の延長は認めません。
- ③ 携帯電話・スマートフォン等は必ず電源を切り、監督者の指示に従ってください。
- ④ 天候等の影響で、交通機関が平常どおりに運行していない場合もあります。試験場には、時間に余裕をもって来るようにしてください。
- ⑤ 試験当日は、自動車及びバイクによる試験場内への乗り入れを禁止します。

### (2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した選抜区分の全ての成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

ア 志願票、受験票へ故意に虚偽の記入（受験票・写真票に本人以外の写真を貼るなど）をすること、解答用紙へ故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること

イ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること

エ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと

カ 監督者が試験開始を指示する前に、問題冊子を開いたり解答を始めること

キ 試験時間中に、使用が認められていない定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること

ク 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること

※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。（試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上及び修学上の配慮に関する事前相談が必要です。）

ケ 監督者が試験終了を指示した後に、その指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること

コ その他、試験時の説明で禁止された行為をすること

- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。ただし、試験時の説明で認められている行為については、不正行為に該当しません。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

- ア 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること
- イ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）をならすなど、試験の進行に影響を与えること
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること
- オ 試験場において監督者等の指示に従わないこと
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること
- ※その他、試験時間中に使用できないものや身に付けることができないもの等が発見された場合も不正行為に該当する場合があります。

## 9 合格発表等

### (1) 合格者発表

#### ① 発表日時

選抜方法	発表日時
推薦による選抜	令和6年5月31日(金) 14時(予定)
学力試験による選抜	令和6年7月12日(金) 14時(予定)

#### ② ホームページでの掲載及び通知

合格者の受験番号を本学ホームページ (<http://nyushi.utsunomiya-u.ac.jp/goukaku.html>) に掲載するとともに、合格者には「合格通知書」を郵送します。

また、推薦による選抜の場合は出身学校長等に対して合否を郵便により通知します。

(注) 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

### (2) 入学確約書の提出

合格者は、下記の期限までに「入学確約書」（用紙は合格通知書と併せて送付します）を学務部入試課へ提出してください。

**推薦による選抜** 令和6年6月14日(金)まで

**学力試験による選抜** 令和6年7月26日(金)まで

入学を辞退する場合も、上記の期限までに『入学辞退届（様式任意）』を必ず提出してください。

### (3) 追加合格

**学力試験による選抜**

入学確約書の提出締切後、募集人員に欠員が生じた場合には、令和6年8月23日(金)から9月6日(金)までの間に合格者を追加することがあります。

## 10 入学手続

- (1) 入学手続日（令和7年3月中旬予定）等は、入学確約書提出者に対して改めて連絡します。
- (2) 提出書類は、本学の指定する書類とします。

## 11 入学料及び授業料等

### (1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円 (年額)

※入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※授業料は、半期分(267,900円)をそれぞれ指定期日までに納付していただくことになります。

### (2) 学生教育研究災害傷害保険及び賠償責任保険料(2年間分)

2,430円 (令和6年4月現在)

## 12 疾病・負傷や身体障害等による受験上及び修学上の配慮に関する事前相談

疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上で配慮を必要とする場合は、下記期限までのできるだけ早い時期に学務部入試課に事前相談申請書を提出して相談を開始してください。

また、事前相談の期限後であっても、受験上及び修学上で配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

### (1) 事前相談の期限

**推薦による選抜** 令和6年4月30日(火)まで

**学力試験による選抜** 令和6年5月27日(月)まで

### (2) 事前相談申請書の提出

本学ホームページ (<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php>) からダウンロードした事前相談申請書に次の内容を記載し、医師の診断書(写しでも可)を添えて学務部入試課に提出してください。

- ① 氏名、住所、連絡先電話番号、連絡可能な時間帯
- ② 志願予定の選抜の種類、学科・コース名
- ③ 疾病・負傷や身体障害等の内容・程度
- ④ 受験上の配慮を希望する事項
- ⑤ 修学上の配慮を希望する事項
- ⑥ 出身学校等で受けていた配慮の内容
- ⑦ 日常生活の状況

## 13 修学条件等

### (1) 既修得単位の認定について

当該出身校で修得した授業科目の単位は本学の定める基準に従って審査され、カリキュラム及び成績等が基準を満たしていると認められる場合には、本学で修得した単位として扱われます。

### (2) 在学期間の通算の取り扱いについて

当該出身校での在学期間は、本学の修業年限のうち2年間を既に在学したものとして取り扱われず。したがって、編入学後の在学期間は2年以上6年以内となります。この間に授業科目を履修して、定められた卒業に必要な単位を修得することになります。

なお、認定された単位数および授業科目の開講状況によっては、卒業までに要する期間が、2年を超える場合があります。

## 14 募集要項請求方法

### (1) テレメールから請求する場合

本学のホームページからテレメールのホームページにアクセスすることにより、直接資料請求ができます。QRコード対応携帯電話であれば右記コードを読み取ってください。

詳しくは、宇都宮大学ホームページ (<https://www.utsunomiya-u.ac.jp>) をご覧ください。

### (2) 郵送で請求する場合

郵便で請求する場合は、下記あての封筒に『地域デザイン科学部編入学学生募集要項請求』と朱書きし、郵便番号・住所・氏名を明記した返信用封筒(角形2号封筒)に210円分の切手を貼付したもの。速達の場合は、470円分の切手を貼付すること、及び日中に連絡可能な電話番号を記入したメモ(請求内容の不明瞭や返信用切手代不足の場合に本学から電話連絡するため)の2点を同封の上、下記の問い合わせ先に申し込んでください。

〒321-8505 宇都宮市峰町350 宇都宮大学学務部入試課



テレメール



QRコード

## 15 その他

(1) 出願者に対する宿泊施設等のあっせんはしません。

(2) 宇都宮大学では、令和3年度入学者からマイナンバーカードを図書館での館外貸出や夜間休日等の本学建物への入棟の際などに活用しています。詳細については、本学ホームページ「<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/campuslife/gakuseisyo.php>」をご確認ください。

なお、マイナンバーカードの取得には、1～2か月程度かかりますので早めに手続きをお願いします。マイナンバーカードの申請方法等については、地方公共団体情報システム機構のマイナンバーカード総合サイト「<https://www.kojinbango-card.go.jp/apprec/>」をご確認ください。

## 16 地域デザイン科学部第3年次編入学試験実施結果

学 科	募集人員	志願者数 (入学年度)			合格者数 (入学年度)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
建築都市デザイン学科	3	10	12	10	2	5	2
社会基盤デザイン学科	3	4	4	5	4	3	4
計	6	14	16	15	6	8	6

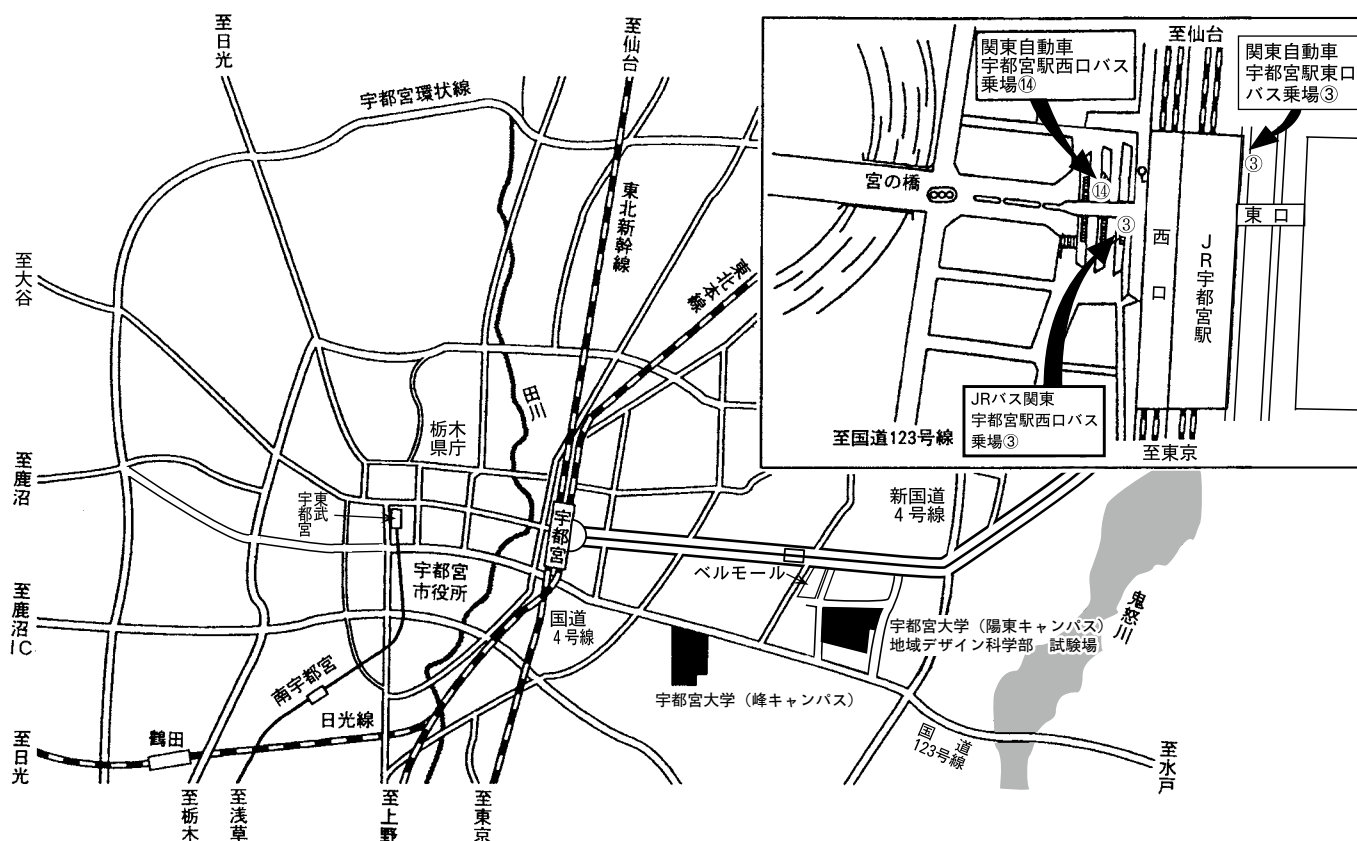
## 試験場への案内

東京都内から本学最寄駅までの所要時間

- J R 東京駅から J R 宇都宮駅 J R 東北新幹線利用 約 1 時間  
J R 上野東京ライン, 宇都宮線利用 約 2 時間
- J R 新宿駅から J R 宇都宮駅 J R 湘南新宿ライン, 東北新幹線利用 (大宮駅乗換) 約 1 時間 15 分  
J R 湘南新宿ライン, 宇都宮線利用 約 1 時間 50 分
- 東武浅草駅から東武宇都宮駅 東武スカイツリーライン, 東武日光線, 東武宇都宮線利用  
(曳舟, 南栗橋, 新栃木駅など乗換) 約 2 時間 30 分
- 羽田空港から J R 宇都宮駅 東京空港交通 (高速バス) 利用 約 3 時間

仙台から本学最寄駅までの所要時間

- J R 仙台駅から J R 宇都宮駅 J R 東北新幹線利用 約 1 時間 20 分



◎宇都宮大学陽東キャンパス地域デザイン科学部試験場 (J R 宇都宮駅から約4.2km)

- 宇都宮ライトレール (ライトライン) (芳賀・高根沢工業団地行など)  
……宇都宮駅東口から乗車約10分「宇都宮大学陽東キャンパス」下車 徒歩9分
- 関東自動車 (真岡, 益子, 星の杜中学校・高等学校, ベルモール行など)  
…… J R 宇都宮駅西口バス乗場⑭から乗車約15分「工学部前」下車 徒歩6分  
東武宇都宮駅バス乗場から乗車約25分「工学部前」下車 徒歩6分
- 関東自動車 (ベルモール, 星の杜中学校・高等学校行)  
…… J R 宇都宮駅東口バス乗場③から乗車約10分「工学部前」下車 徒歩6分

[参考]

宇都宮ライトレール(株) TEL 0570-011-177  
 関東自動車(株)本社路線バス部 TEL 0570-031811